



議会だより



令和の都だざいふ 第38回 太宰府市民政庁まつり



議会を傍聴してみませんか

本会議は51人、委員会は12人まで傍聴できます。
議会のライブ配信も行っています。
詳しくは議会事務局までご確認ください。

12月定例会の日程(予定) 会議の開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3	4	5	6	7
		本会議 市長提案 理由説明		本会議 質疑 委員会付託		
8	9	10	11	12	13	14
	総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	建設経済 常任委員会		本会議 一般質問	
15	16	17	18	19	20	21
	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)		本会議 委員長報告・質疑 討論・採決		

決算特別委員会	38P
9月定例会リポート	40P
議決結果一覧	41P
一般質問(個人質問)	42P
常任委員会所管調査	49P
意見交換会について	50P



決算 審査報告

令和5年度 各会計の決算を認定しました

決算特別委員会にて一般会計、所管常任委員会にて特別会計・企業会計の決算審査を行い、9月19日の本会議において認定・可決されました。



令和5年度 一般会計・特別会計決算

単位:円

会計別		歳入	歳出	差引残額
		決算額(A)	決算額(B)	(A-B)
一般会計		33,629,798,081	31,671,721,553	1,958,076,528
特別会計	国民健康保険事業	6,850,202,665	6,787,585,631	62,617,034
	後期高齢者医療	1,454,640,880	1,407,440,300	47,200,580
	介護保険事業	5,729,793,503	5,668,262,496	61,531,007
	住宅新築資金等貸付事業	2,320,083	1,774,118	545,965
合計		47,666,755,212	45,536,784,098	2,129,971,114

令和5年度 公営企業会計決算

単位:円

会計	科目	決算額	会計	科目	決算額
水道事業	収益的収入	1,467,958,688	下水道事業	収益的収入	1,793,396,780
	収益的支出	1,304,248,697		収益的支出	1,393,084,646
	収益的収支	163,709,991		収益的収支	400,312,134
	資本的収入	165,756,800		資本的収入	173,837,960
	資本的支出	620,478,185		資本的支出	842,375,919
	資本的収支	▲454,721,385		資本的収支	▲668,537,959



不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額と、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

令和5年度 市債・基金残高

単位:千円

区分	R4年度末	R5年度末	増減額
市債	19,510,307	18,730,050	▲780,257
基金	6,541,104	7,054,523	513,419



「市債」は市の借金、「基金」は市の貯金にあたります。



太宰府市の お金の使い方をチェック

決算審査で交わされた質疑の中から、委員の関心が高かったものを掲載しています。

❓ 実行されなかった「市長と語る会」について

💡 コロナ禍の経緯もあり、開催方法の変更を検討しましたが、令和5年度中に実施に至りませんでした。

❓ プロジェクトチームで検討するとして、公共施設の料金の改定について

💡 全体的な公共施設の料金の改定までは至っていません。



❓ 重点項目とされた「太宰府まると大図鑑」の作成について

💡 作成案を検討中であり、まだ完成しておらず、完成時期についても未定です。



❓ 運行状況が厳しいまほろば号に関して、改善に向けて議論は進んでいるのか

💡 まずは市全体の地域公共交通のあり方を検討しながら、総合的に見直したいと考えています。

❓ 西鉄バス路線の一部区間の廃止が目前に迫っている。早急に総合交通計画及び地域公共交通計画を策定する考えはあるか

💡 計画の策定は進めていますが、急ぎ対策が必要なものや施策については対応していきたいというふうに考えています。



❓ 老人クラブの補助金は、1クラブあたり約5万円の計算となるが増額の要望はないのか

💡 令和5年度より、会員数に応じて段階的に5,000円ずつ増額する改定を行いました。

❓ 学童保育所入所者数が定員を超えている、太宰府東小学校と水城小学校への対応について

💡 太宰府東小は今年度中に1か所増設します。水城小は不足が生じた場合、関係部署にて校舎を利用する等も視野に入れ協議を行います。

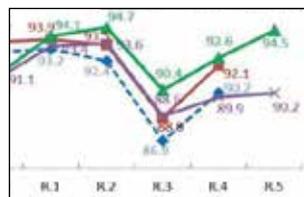
❓ ゴミの排出量が減少していることについて

💡 ゴミの排出量は、ここ数年減少傾向で推移しており、一人当たりのごみの量も減少しています。引き続きゴミ減量の取り組みを進めていきます。



❓ 本市の財政状況を表す財政力指数及び経常収支比率に関して、ふるさと納税を含めて算出した数値を併記した意図・目的について

💡 市民の方にも財政が健全であることを伝えるために、好調なふるさと納税を加味することで指標が好転することを示したいと考えました。



○令和6年第3回定例会(令和6年8月27日～9月19日) 会期24日間

○専決処分

◆専決処分の報告について

⇒市の公用車が駐車場ポール損傷事故を起こしたので損害賠償を市が加入する保険により行います。《報告第10号》

○財産の取得

◆財産の取得(太宰府市緑地保護地区内)について

⇒大佐野の緑地保護地区内の土地を、27,065㎡(約5,357万6千円)取得します。
《議案第46号》

可決

○条例

◆太宰府市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例について

《議案第48号》

原案可決

○意見書

◆持続可能な学校の実現を目指す意見書

⇒国において、持続可能な学校の実現をめざし、子どもたちのゆたかな学びの保障を実現すべく、実効性のある学校の働き方改革、長時間労働是正を求めるものです。《意見書第1号》

否決

○令和6年度一般会計補正予算(第4号)

◆歳入・歳出それぞれ16億5,683万3千円を追加し、総額は327億1,961万6千円になりました。

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
道路橋梁費	1,587万6千円	地域公共交通費 1,587万6千円 デマンド交通実証実験を行うものです。
教育総務費	1,021万円	学校教育運営費 165万2千円 太宰府小学校および太宰府中学校において、自宅から学校まで距離が遠く、適正で安全な通学のためにバスや自転車で通学している児童・生徒が経済的な負担なく通学できるよう、保護者に対し通学費相当分を補助するものです。
小学校費 中学校費	3,899万4千円 3,509万4千円	小学校施設整備費 3,874万円 中学校施設整備費 3,506万8千円 小中学校の屋内運動場の空調設備設計費とトイレ改修費用の補正です。
社会教育費	825万1千円	文化財保存・継承事業費 824万1千円 国指定重要文化財の保存修理事業への補助金の増額、防災施設整備事業に伴う補助を新たに行うものです。

9月定例会 全会一致で可決した議案

議案番号等	案件名	議決結果
報告第10号	専決処分の報告について(市公用車による駐車場ポール損傷事故の損害賠償の額の決定)	—
議案第46号	財産の取得(太宰府市緑地保護地区内)について	可決
議案第47号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	可決
議案第48号	太宰府市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第49号	令和6年度太宰府市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第50号	令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第51号	令和6年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
認定第2号	令和5年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和5年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和5年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和5年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	令和5年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
認定第7号	令和5年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
報告第11号	令和5年度太宰府市健全化判断比率の報告について	—
報告第12号	令和5年度太宰府市水道事業会計資金不足比率の報告について	—
報告第13号	令和5年度太宰府市下水道事業会計資金不足比率の報告について	—
報告第14号	太宰府市土地開発公社の経営状況報告について	—
報告第15号	公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況報告について	—
報告第16号	公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況報告について	—
報告第17号	専決処分の報告について (道路舗装はがれで発生した段差による車両損傷事故の損害賠償の額の決定)	—

9月定例会 賛否の分かれた議案

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

議案番号等	案件名	議決結果	公明党		宰光		新風		市民ネット		市民の声		未来のまち		無会派			
			小島貴由美	堺剛	陶山良尚	原田久美子	入江寿	船越隆之	門田直樹	今泉義文	徳永洋介	森田正嗣	長谷川公成	橋本健	木村彰人	馬場礼子	笠利毅	神武綾
認定第1号	令和5年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
意見書第1号	持続可能な学校の実現をめざす意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○

※門田直樹議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。

※以下の会派名について、一部省略して記載しています。

市民ネット：太宰府市民ネット

市民の声：太宰府市民の声

無会派：会派に所属していない議員

訂正とお詫び

だざいふ議会だより180号(令和6年8月1日)の37ページ2段目7行目及び8行目の「排水」は「配水」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

また、同じく180号の42ページに令和5年度政務活動費収支報告を掲載しておりましたが、訂正がありますので併せてお知らせいたします。

詳細は市議会のホームページをご参照ください。





問 本物のインクルーシブ教育とは

タコスキッド 議員



録画映像はこちら

Q 平成31年3月定例会で市長は「ともに学ぶ」インクルーシブ教育の実現を目指す」と述べている。他方、文部科学省は、個別的教育のニーズにその時点で的確に応える柔軟な仕組みが重要とし、分離教育を主軸に考えている。市の見解について3点伺う。

- ①分離教育によって奪われる可能性がある多様な人や人生経験、社会経験と子どもの相互理解について
- ②本市のインクルーシブ教育の最終形態について
- ③障がいの有無だけでなく、その他の特性や困難をもつ子どものインクルーシブ教育について

A ①学校では、障がいのある子ども、ない子どもが可能な限り共に学ぶことを追求するとともに、一人一人のニーズに応える指導を提供できる仕組みを整備して教育活動を行っています。学校で共に生活する中で子どもたちの相互理解も促されていると考えています。

- ②最終的には共生社会の形成を目指します。そのために特別支援教育を推進し、福祉部門とも連携をしています。
- ③人間の多様性を尊重し、障がいの有無や国籍、性差、経済状況等を問わず共生社会を目指す教育であると考えます。



全質問項目

- ◇インクルーシブ教育について
- ◇障害者差別解消法の合理的配慮について
- ◇子ども食堂の太宰府市と筑紫野市の連携について



梅林アスレチックスポーツ公園の時計塔

Q 梅林アスレチックスポーツ公園にある時計塔には故障中と掲示されていた。市内には、この時計塔のほかにも十数基の時計塔が設置されている。市内の公園や学校施設などに設置されている時計塔の数と場所、設置された年と目的について伺う。また、故障した時計塔の今後の修理計画について伺う。

現在、モニメントや専用ポールに時計が設置されている時計塔は、都市公園22か所、運動公園等6か所と市内小・中学校全校に設置されています。公園では、主に利用者に時間を知らせることと公園のイメージづくりを目的に、学校では記念事業の一貫などで設置されています。設置から30年以上を経過



問 市内の公園にある時計塔の管理を

原田 久美子 議員



録画映像はこちら

A 現在、モニメントや専用ポールに時計が設置されている時計塔は、都市公園22か所、運動公園等6か所と市内小・中学校全校に設置されています。公園では、主に利用者に時間を知らせることと公園のイメージづくりを目的に、学校では記念事業の一貫などで設置されています。設置から30年以上を経過

しているものが多く、経年劣化などによる故障も発生していますので、適時修理を行っています。仕様によっては特注品のための修理部品の調達が難しいことや修理費用などの課題から修理を見合わせている状況です。社会情勢等を踏まえながら、今後も時計塔の在り方についても検討していきます。

全質問項目

- ◇本市の時計塔について
- ◇特別史跡水城跡について



問 学校教育の課題と方向性は

とくなが ようすけ
徳永 洋介
議員



録画映像はこちら

Q 学校教育の課題と方向性について3点伺う。

①水泳授業において、教員の操作ミスによって水道料金が無駄になった場合の対応は。

②部活動の地域移行の課題と方向性は。

③小・中学校教員の働き方改革の課題と方向性は。

A ①プール管理について、文科省からの文書では民営プールの活用などが述べられています。なお、本市ではそのような事例はなく、具体的な対応は過失の程度や状況などを勘案し、個別に判断すると考えています。

②受皿となる団体の確保などの課題があります。次期学習指導要領における中学校部活動の位置づけも注視しながら検討していく必要があります。

③教職員の意識改革、業務改善の推進、部活動の負担軽減、教職員の役割の見直しと専門スタッフの活用等の4つの働き方改革に取り組んでいます。課題として時間外在校時間数が多い職員が一部見受けられますので、学校と連携して調査し、負担軽減に努めていきます。

今後とも教職員がワーク・ライフ・バランスの取れた生活を実現し、

学校教育の質の維持と向上を図れるように取り組んでいきます。



全質問項目

◇本市の学校教育の課題と方向性について



問 安全・安心な通学路の実現にむけて

はせがわ こうせい
長谷川 公成
議員



録画映像はこちら

Q 高雄台上り口交差点への横断歩道設置に関して、一刻も早い安全・安心な通学路の実現に向けて、過去の幾度となく質問を行ってきた。その後の警察との協議等、進捗状況について伺う。

②部活動の地域移行の課題と方向性は。

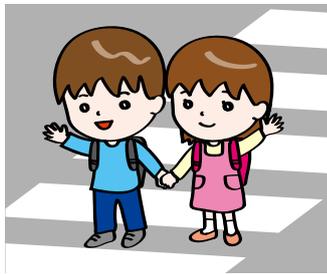
③小・中学校教員の働き方改革の課題と方向性は。

A 警察との協議では、交差点付近に歩行者が留まるスペースが十分ではないことや、接続道路の形状から交差点付近の見通しが悪いことによる歩行者の安全確保の課題なども指摘されていました。

成して、自治会長や関係者への説明にも着手しています。

今後、登下校における児童・生徒の安全確保のため横断歩道の早期設置に向け鋭意取り組んでいきます。

そこで視点を変えて、車両から横断する歩行者の見通しを確保するために、横断歩道の設置位置を交差点から約40m前後、星ヶ丘保育園側にずらした見通しの利く直線の位置であれば、設置が可能ではないかとの判断に至ったところです。現在、筑紫野警察署及び県警本部との立合協議を受け、図面などの資料を作



全質問項目

◇安全・安心な通学路について
◇子育て支援の取組について



木村 彰人 議員

問 『日本遺産』認定継続のためにどうすべきか



録画映像はこちら

Q 日本遺産「古代日本の『西の都』」の再評価を受けて認定継続に関して3点伺う。

- ① 日本遺産として認定されることの意義は。
- ② 単独認定から広域型に変更認定された理由は。
- ③ 再評価の原因と認定継続のための改善策は。

A ① 古代大宰府の歴史と地域の特性を多くの方に知ってもらおう事業展開を図ることができました。

② 大宰府に関する文化財やストーリーは本市域をはるかに越えて広がっており、大宰府的な視点で史跡の維持保存活用や国際交流、地域間連携を図ること、交流人口の拡大による経済収効果の向上への努力をしてきたことから、広域型に変更申請し認定されました。

③ 令和2年6月に広域型になったばかりで、また、新たな代表の福岡県や新規加入自治体では、未対応事項が多く厳しい評価となりました。その後、県が代表の『西の都』日本遺産活性化協議会事務局は、協議会への観光・商工関係部署や民間事業者の参画を進め、官民協働での推進体制を整えています。本市も県や他構成市と連携を図りながら更なる改善に努めています。



日本遺産「古代日本の『西の都』」のポスター

全質問項目

- ◇ 日本遺産の再評価に見る、近隣市町と連携できない本市の孤立について
- ◇ 九州市長會有志の勉強会として再始動した「九州府構想」について



馬場 礼子 議員

問 高齢者と仕事をマッチングする仕組みづくりが必要ですか



録画映像はこちら

Q 高齢者雇用の積極的取組体制の確立に関して5点伺う。

- ① 本市の65歳以上の方の就業者数と就業率は。
- ② シルバー人材センターの現状と本市との連携は。
- ③ ハローワークとの連携は。
- ④ 高齢者雇用を積極的に進めるための本市独自の取り組みはあるか。
- ⑤ 高齢者が希望する就業先とマッチングする取り組みとして、職業紹介事業や無料職業紹介所を取り入れて、積極的な求人活動を進めるべきと思うが見解は。

A ① 令和2年度時点の本市の65歳以上は、2万332人で就業率は20.8%です。

- ② シルバー人材センターで受託可能なものは、可能な限り同センターに発注するように努めています。
- ③ 本市を管轄するハローワーク福岡南と連携し、毎月2回、生活保護受給者などを対象とした就労支援相談会を実施しています。
- ④ 福岡県中高年就職支援センターと協力し、昨年度市役所において個別就職相談会を実施しました。
- ⑤ 中高年就職支援センター、生涯現役チャレンジャー、生涯現役チャレンジャー、生涯現役チャレンジャー

全質問項目

- ◇ 高齢者雇用の積極的取組体制の確立について
- ◇ 認知症への理解を深めるための取組みと認知症カフェ設置に向けた支援について





問 水城橋の安全対策は

こうたけ
神武
あや
綾
議員



録画映像はこちら

Q 県道112号線
水城一丁目から

下大利団地に抜ける水城橋は、近年交通量が増え、通りづらく危険度が増しており、市民から安全対策の要望が上がっている。そこで2点伺う。

①方策を講じるには交通量調査の結果が必要である。いつ調査を実施し、どのように分析しているのか。
②事故防止のための方策について道路整備計画等を検討しているのか。

A ①直近では平成30年度に調査

しています。平日朝7時から夜7時までの12時間、流出入交通量は約2,200台、下大利団地から水城橋を経由し水城一丁目交差点へ向かう交通量も、反対方向路線の交通量もほぼ同程度です。

②水城橋の拡幅改良等については、用地の確保に加え御笠川の整備計画との調整などの課題があり、平成12年に決定された都市計画道路「下大利駅東線」の整備計画もあるため、関係する大野城市や御笠川の河川改修事業を実施する県と情報共有を行

っており、引き続き連携を図ります。



水城橋

全質問項目

- ◇道路整備について
- ◇就学援助について
- ◇農業政策について



問 ワンヘルスを
実現するには

いりえ
入江
ひさし
寿
議員



録画映像はこちら

Q ワンヘルスの取組の重要性に鑑

み、6点伺う。
①本市がワンヘルス推進宣言をして2年が経つ。県との連携や市独自の取組はあるのか。

②市民への周知と市民の理解の深まりは。
③市民の実践活動の評価と支援、その基準や具休例について
④宣言ではワンヘルスの森(福岡県四王寺県民の森)の利用促進に協力する、とあるがその内容と大野城市、宇美町との連携について
⑤太宰府の街並みを一望できる、かつてのような四王寺林道の整備は。

A ①福岡県ワンヘルス推進行動

計画の下、保健所と合同で狂犬病予防の集団注射を実施しています。

②市独自で職員による出前講座、生き物の専門家による小学校での授業などを行っています。
③福岡こども短期大学にワンヘルスガーデンが完成しました。県とも連携して支援を行います。
④県への積極的協力と併せ、隣接市町とも協力して森の環境整備・維持保全事業を展開しています。

⑤今後の整備については調査研究を進めます。

⑥事業の周知に努め、すぐやる班なども活用します。



FUKUOKA ONE HEALTH
ワンヘルスのロゴマーク

全質問項目

- ◇本市のワンヘルスの取組について

※ワンヘルスとは人と動物の健康、環境の健全性を一つと考え一体的に守ろうという取組です。



問 持続可能な地域公共交通に向けて

さかい つよし
議員



録画映像はこちら

Q 地域公共交通の現状と今後の取組について3点伺う。

- ① デマンド交通に対する住民ニーズの特色をどのように把握され、どのような認識を持っているのか。
- ② 実証実験の計画期間の設定と計画の進捗管理について
- ③ 今回の実証実験でどのようなアウトカム評価を考慮し、成果指標を設定するのか。



A ① エリアごとの課題整理やバ

ス利用者のニーズ把握も含めて、どのような方法が望ましいのか検討を重ねています。

② 事前準備から運行に至るまでの期間は一定の時間を要すると考えています。実証実験以降は、デマンド交通が新たな公共交通体系として地域の利便性の向上に資するかどうか、慎重に見極めていきたいと考えています。

③ 他自治体の個別の状況やさらにエリアごとに異なる状況もありますので、今後の実証実験実施に向けた検討を進める中で、本市にふさわしい指標の設定についても検討していきたいと考えており、地域の実情に応じた持続可能な公共交通の実現を目指してまいります。

全質問項目

- ◇本市の地域公共交通の現状と今後の取組について
- ◇本市の地場産業の醸成について



問 産前産後の切れ目のない支援と拡充を

おばた まゆみ
議員



録画映像はこちら

Q 産前産後の切れ目のない支援の観点から2点伺う。

- ① 妊娠期は、う蝕や歯肉炎が進行しやすくなる。妊婦自身の健康管理と、子どもの歯と健康を守る大切さを知るきっかけづくりとして、妊娠期の歯科健康診査事業を取り入れてはどうか。
- ② 国の実施要綱では、産後ケア事業の対象者を、心身の不調または育児不安などがある者や支援が必要と認められる者としていたが、昨年、産後ケアを必要とする者と改定された。周知や内容の充実など、見えてきた課題は。

A ① 妊産婦、乳幼児期の心身両面からの健康増進を図る上で母子歯科保健は大きな意義を持つことから、安心して生み育てることができる環境の整備を図るために妊産婦歯科検診の実施に向けて準備を進めています。

② 本市では産後ケア事業の利用回数を拡充し、新たな産後ケア施設を開設する事業者に対しては、設備費用の一部助成を新設したところですが、周知については、引き続き母子手帳交付時と出産後の赤ちゃん訪問時に直接お知らせするとともにHPや子育て支援アプリを通じて行ってまいります。

全質問項目

- ◇産前産後の切れ目のない支援について
- ◇認知症対策への取り組みについて





橋本 健 議員

問 主な公共施設の活用計画は

Q いきいき情報センターに関して何う。

① 学習スペースフリースペースの現状と課題

② 1階空きスペースの誘致活動

● 太宰府館に関して何う。

③ 利用の現状

④ 官民連携による民間活力の導入

● 梅林アスレチックスポーツ公園に関して何う。

⑤ 芝起こし

⑥ 多目的広場の整備

⑦ 駐車場の確保

⑧ 市外者の利用状況

⑨ ナイター設備

⑩ 飲食店の営業許可

A ① 学生の利用割合が多い状況

です。学習スペースの増設や学習スペースとフリースペースを区分してほしい旨の要望があり、解決すべき課題

と考えています。

② 現在3事業者と建物等賃貸借契約を締結して

おり、その他の空きスペースについては複数の事業者と協議中です。

③ 令和5年度は約21万人とコロナ禍前の水準に回復しています。

④ 観光客の回遊促進や消費拡大を図るべく調査

研究に着手し、本年度内に調査結果をまとめ

具体的な活用計画の策定を目指します。

⑤ 日常の管理業務として芝起こし等を行い、経

年劣化の部分には計画的な補修を検討してい

ます。

⑥ トラックのアンティーク

舗装や全天候型への改

修等については、助成

金の活用など調査研究

していきます。

⑦ 大学の行事のない土日

に限り九州情報大学学生駐車場を借用して

ます。

⑧ 市内市外の区分の基準

など多くの課題を整理

しながら検討を行って

います。

⑨ 設置場所や多額の工事

費の課題があるため、

今後調査研究してい

きます。

⑩ 地域や利用者の意向も

踏まえ今後検討してい

きます。

全質問項目

◇ 主な公共施設の計画について



録画映像はこちら



森田 正嗣 議員

問 大規模災害発生時の対応は万全か

Q 大規模災害発生時の市の対応について10点何う。

① 対応マニュアルの改定

② 職員の招集

③ 災害情報の収集方法

④ 避難所運営

⑤ 避難生活支援

⑥ 災害広報

⑦ 権限証明書の発行

⑧ 災害廃棄物の回収

⑨ ボランティアとのマッチング

⑩ 支援金等の交付

① 太宰府市地域防災計画を平成26年5月に全面改訂し、併せて災害対策本部マニュアル等を整備

しています。

② 職員への連絡手段がない場合は、参集基準に沿って、自主的に参集することになっていま

す。

③ 自治会や自主防災組織、市民からの通報、消防警察の連絡などにより収集します。

④ 発災後、必要と判断した場合

は避難する建物の安全確認を行いな

がら開設運営を行います。

⑤ 外国人を含む観光客に対しても情報を的確に提供できる仕組みを構築して

いきます。

⑥ 物資供給、給水、トイレ支援が必要で

す。本年度、簡易トイレ、トイレカーの調達に取り

組んでいます。

③ 自治会や自主防災組織、市民からの通報、消防警察の連絡などにより収集します。

④ 発災後、必要と判断した場合

は避難する建物の安全確認を行いな

がら開設運営を行います。

⑤ 外国人を含む観光客に対しても情報を的確に提供できる仕組みを構築して

いきます。

⑥ 物資供給、給水、トイレ支援が必要で

す。本年度、簡易トイレ、トイレカーの調達に取り

組んでいます。

⑦ SNSや、市のHP、防災メール等を活用し

必要な情報を適切に発信して

いきます。

⑧ 調査班の業務として位置づけて

いますが、災害の規模によっては他

自治体の応援職員など

の力を借りることも考える必要

があります。

⑧ 災害廃棄物を分別する仮置場の設置が必要と

考え

ます。

⑨ 社会福祉協議会に災害設置の要請を行います。

⑩ 支援金が適切に支給される

ことが重要であるため調査研究を進めま

全質問項目

◇ 大規模災害発生時の対応体制について



録画映像はこちら



問 今こそ令和改元5年を盛り上げよう

いまいずみ よしふみ
今泉 義文
議員



録画映像はこちら

Q 元号「令和」は、「万葉集」を出典とする、日本人として誇り高い元号である。今年

は令和改元5年を迎え、4月に記念式典も開催されたが、さらに盛り上げる必要があると考え、2点伺う。

①改元5年を盛り上げる関係団体との協議について
②今後のイベントなどの企画について

A ①大宰府万葉会の協力の下、梅花の宴の再現をはじめとする万葉の取り組みを実施しました。今後も連携を深め、「令和」「万葉」の取組を推進します。

②大宰府展示館では「令和改元5年記念展」を開催し、文化ふれあい館では「まるごと太宰府歴史展2024」の中で、「万葉集」と太宰府の紹介を行っています。



令和碑

全質問項目

- ◇元号「令和」を盛り上げる取り組みについて
- ◇公共交通機関の充実について

さらに、11月下旬には、NHK大河ドラマ「光る君へ」とのコラボ企画として、とびうめアリーナで出演者等のトークライブ及び太宰府館においてドラマの企画展示、来年2月には、梅花の宴の再現及び万葉の企画展示を開催する予定です。また、(仮称)令和万葉館の設置について、調査研究を行っているところで

す。



問 路線バス廃止案への今後の対応は

かさり つよし
笠利 毅
議員



録画映像はこちら

Q 西鉄バス星ヶ丘線、南ヶ丘線の一部区間の令和7年4月廃止が提案された。

昨年、路線分割から一年での廃止は受け入れ難い。存続が危ぶまれる路線の住民のため、あるいは住民と共に市はどのようなことに取り組んできたのか伺う。

また、これからの半年間、市として何ができるのか、何をするのか。宇美町との間のバス路線の廃止が議論となったとき、補助による路線維持が図られたが、今回財政的な補助の可能性はあるか。

A 本市としては広報だざいふ令和5年9月号での公共交通の厳しい状況と利用促進についての特集記事の掲載に加え、地域公共交通計画の策定に向け鋭意取り組んでいます。

交通事業者に対しても本市の実情を考慮した廃止の取り下げや期間延長をお願いしているところで、路線存続に向け協議を重ねています。

本定例会においては財政的な補助も含め、あらゆる可能性を探る視点からの検討を行い、その一環としてデマンド交通実証実験事業関係費を補正予算として上程しています。



全質問項目

- ◇路線バスの運行(一部区間の路線廃止)について
- ◇総合戦略レビューについて

所管調査報告

総務文教常任委員会

日にち: 令和6年7月29日(月)

調査先: いきいき情報センター・太宰府小学校・松川運動公園

いきいき情報センターでは、指定管理業者の財団から直接話を聞き、大変有意義でした。空きスペースや全世代交流スペースの活用等をあわせて調査しました。トレーニングルームを利用される皆様のご様子に癒されました。

太宰府小学校では、体育館改修工事の見学をしました。また空き教室不足、観光シーズン時のバス通学の子どもの乗降が困難になる状況への学校の対応など調査しました。

松川運動公園は、体育館の改修工事とともに、スケートボードパーク設営に関して調査しました。現在様々な方向性からどうしていくべきか検討中とのことでした。

3施設の共通点は、『老朽化』『市民ニーズ』です。今後も委員会として注視していきます。



太宰府小学校

環境厚生常任委員会

日にち: 令和6年7月19日(金)

調査先: 児童発達支援センターすみれ園・
ふれあいサポートゆうしん・
ニチイケアセンター太宰府グループホーム ニチイのほほえみ

すみれ園には太宰府市近郊の5市から園児が通園しています。今後入園希望者は増加すると考えられるため、自閉症、多動性などの子どもと専門的に向き合う保育行政が必要だと感じました。

ふれあいサポートゆうしんは笑顔あふれる第二の我が家を理念として地域に根ざした支援が行われていました。

ニチイのほほえみは家庭的な雰囲気大切に認知症の方のサポートをされています。

現地調査後にゆうしん、ニチイのほほえみとの合同の懇談会を行うなかで、介護は誰もが関係することなので、高齢になりその後どのような人生設計とされるかを考えられるよう行政として啓発できれば施設の利用も変わってくるのではと感じました。



すみれ園

建設経済常任委員会

日にち: 令和6年7月24日(水)

調査先: 三条岩渕砂防事業・内山谷川砂防事業
筑紫野古賀線事業・観世音寺二日市線事業

市内が進む県の事業について現地調査を行いました。県職員の方に説明を受けました。

砂防ダムは土石流災害を防止するものです。

三条岩渕ダムは平成27年に事業を開始し令和5年3月に完成し、人家98戸、老人ホーム等を保全します。総工費は1.8億円です。

現在も工事中の内山谷川ダムは人家40戸等を保全対象とし、総工費は約3.9億円、令和11年ごろの完成を見込みます。

只越交差点から松川を結ぶ筑紫野古賀線太宰府市工区は、現地を見ると工事は思いのほか進んでおり供用開始に向け事業が進められています。

筑陽学園横と西鉄二日市駅を結ぶ観世音寺二日市線は、住宅地を通ることもあり景観にも一定の配慮をしつつ事業が進められています。

砂防ダムも道路も市民生活に直結しています。市と市民が日常的に関心を払い続け、関連する市の事業も計画的に進めていくことが重要となります。



三条岩渕砂防ダム



令和6年度 太宰府市議会 市民と議会の 意見交換会 11月10日 日



「市民と議会の意見交換会」を開催いたします。
私たちの住む太宰府のまちについて、あなたの声をお聞かせください。
議員一同、皆様のお越しを楽しみにしています。

- **場 所** : いきいき情報センター 2階 研修室他
(太宰府市五条三丁目1番1号)
- **時 間** : 10:00 ~ 12:00 ※9:30 開場です。
- **定 員** : なし 申し込み不要
- **内 容** : 10:00~10:05(5分間) 開会行事
10:10~10:40(30分間) } 常任委員会ごとに分かれて意見交換
10:50~11:20(30分間)
11:30~12:00(30分間)



託児サービス をご希望の方は、10月31日(木) までに
議会事務局 までお申し込みください。

◇ 編集後記 ◇

よりよい「街づくり」の為に、議会として、議員として、何ができるだろうかと常々考えています。皆さんの日常の困り事から、5年先10年先の太宰府市の事。そんな時いつも思うことは、もっと皆さんの声を聞きたい、もっと市政に関心を寄せていただきたい、ということです。

「任せてるんだから、放っておいてもちゃんとやってよ」と思われるかもしれませんが、より多くの多様な意見が集まれば、みんなにとって過ごしやすい「インクルーシブな街づくり」ができるのではないかと考えます。パブリックコメントや市民参加の会議体だけではなく、街中での気軽なご要望のお声かけや議会の傍聴という関わりが今後増えると嬉しいです。9月議会の一般質問や最終日の討論などは、特に見応えのある内容だったのでないかと思えます。ぜひ、太宰府市議会の動画をご覧ください、感想をお聞かせください。

発行責任者

議会広報特別委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
員	員	員	員	員	員	員
タコス	馬場	今泉	木村	堺利	原田	長門
キッド	礼文	義彰	彰人	剛毅	久美子	直樹